

Amazon Appstream 2.0を使用した クラウド編集環境の構築

－新人研修で検証－

01 はじめに

02 システム構想

03 環境構築

04 システム構成

05 技術的ハードル

06 実運用と評価

07 まとめ

はじめに

自己紹介



【2023年入社（入社4年目）】

- ・2023年～：編集
- ・2026年～：マスター

背景

【先輩の異動/引継ぎ】

- ・Amazon Appstream 2.0を使用してEDIUS9の動作検証までは成功
- ・弊社編集環境はEDIUSXであるため、EDIUSXでの動作が必須。検証の続きを引き継ぐ

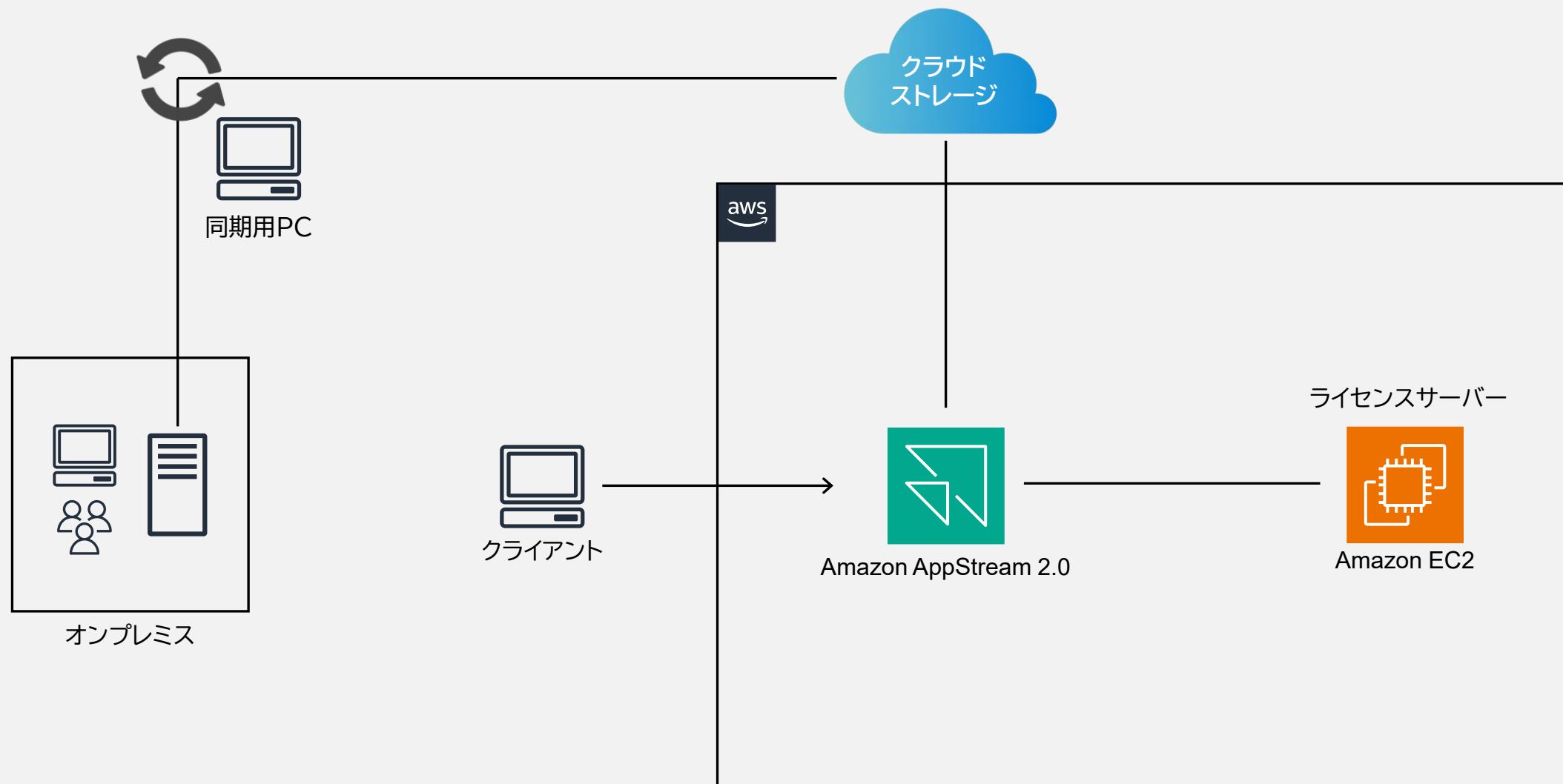
【仮編集部屋の不足】

- ・制作陣からどこからでも編集できる環境が欲しいという要望もあり



新人研修をターゲットに
クラウド編集環境の構築を実施

システム構想



新人研修：5人1組の3グループに分かれて各グループごとにVTR制作

【1】:EDIUSクラウドライセンスを3つ用意 (EDIUS9/EDIUSX/EDIUS11)

【2】:EDIUSライセンスサーバーを3つ作成 (Amazon EC2)

- ・GVライセンスマネージャーをインストールしてライセンスを登録

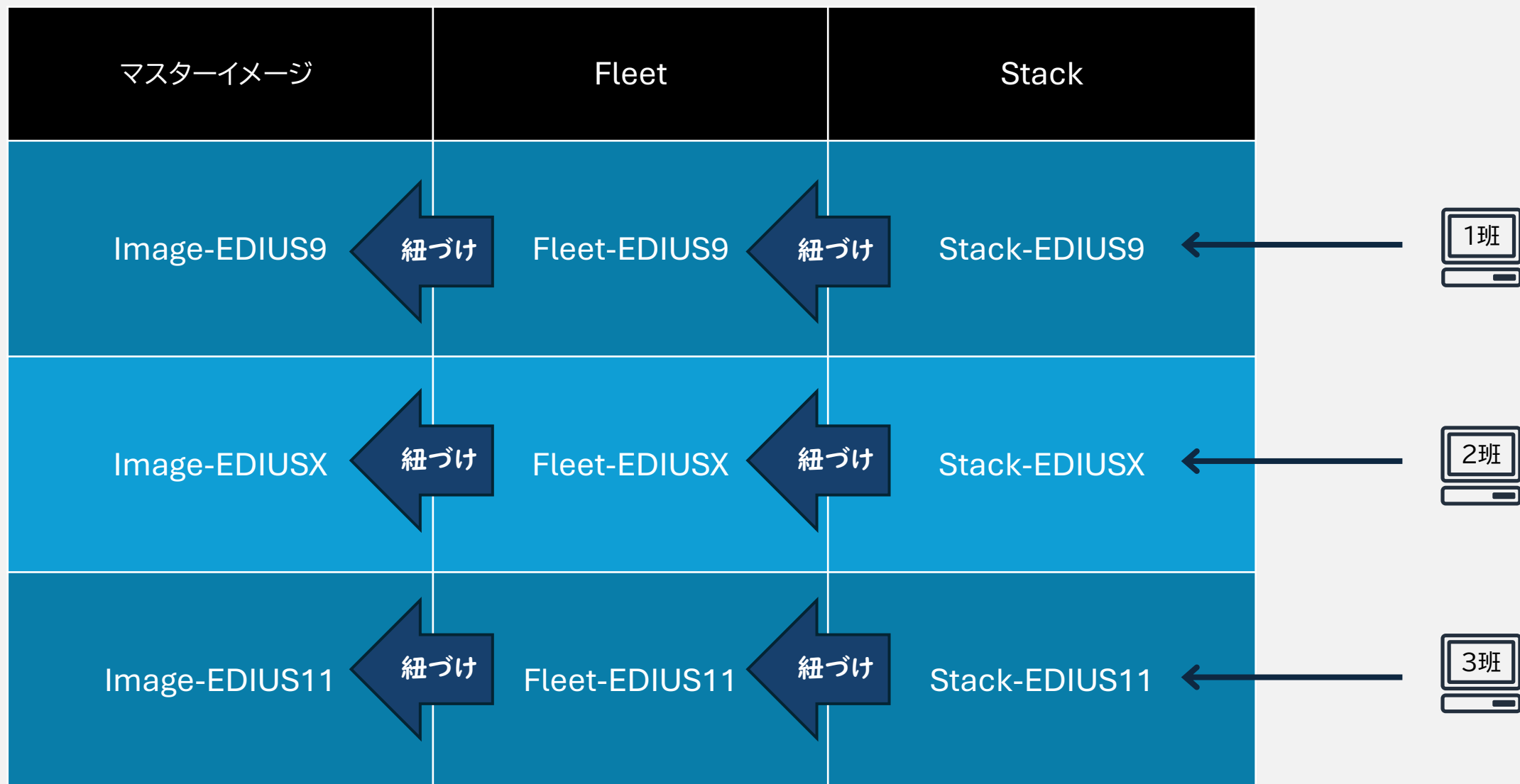
【3】:マスターイメージを3つ作成

- ・LucidLinkクライアントをインストールしてクラウドストレージをマウント
- ・EDIUSアプリをインストール
- ・GVライセンスマネージャーをインストール
- ・参照先ライセンスサーバーを指定

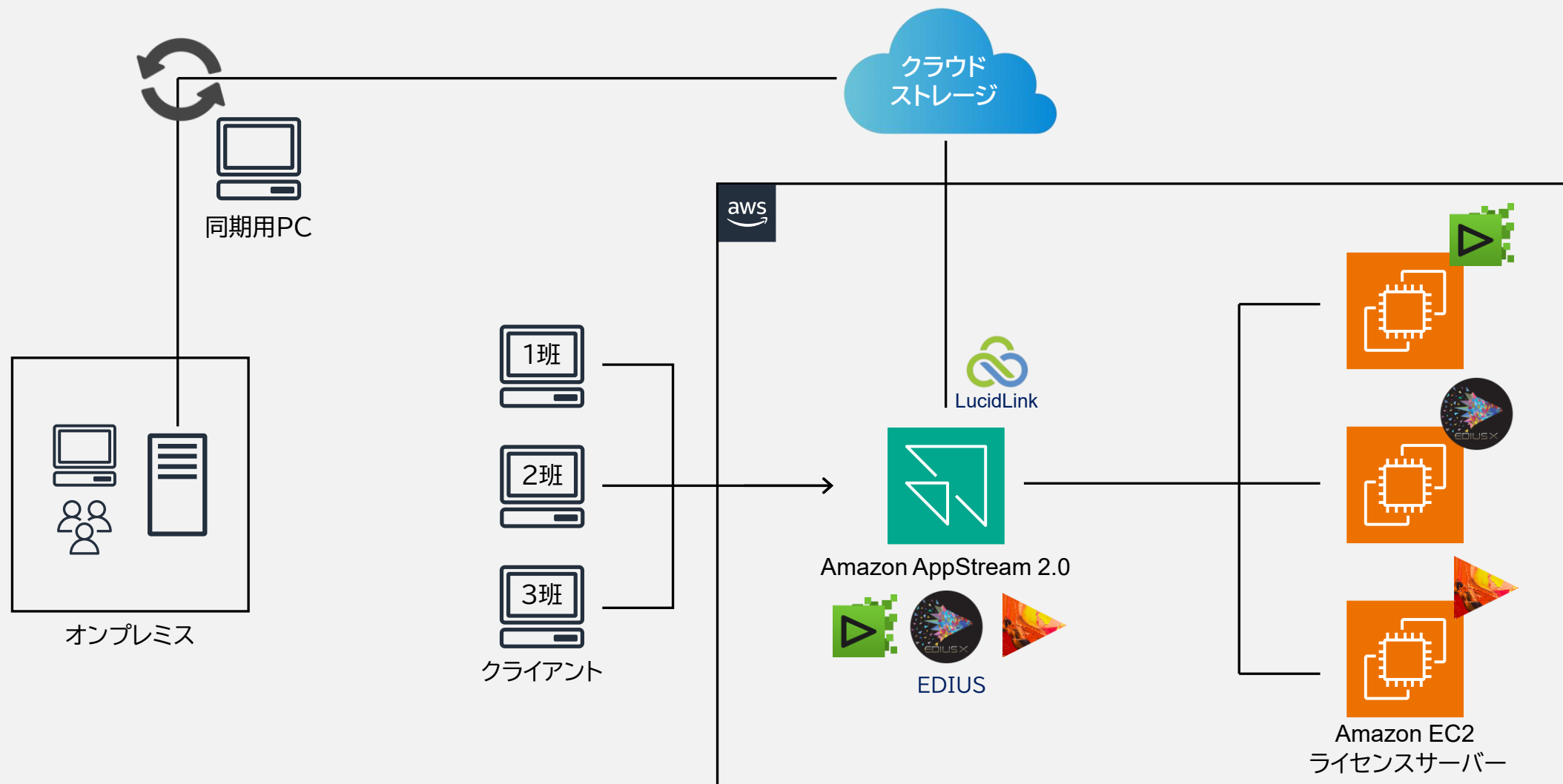
【4】:Fleetを3つ作成

【5】:Stackを3つ作成 →各班に割り当てて使用開始

環境構築



システム構成-1



システム構成-2



AWS Cloud



Internet gateway



Virtual private cloud (VPC)

Availability Zone 1



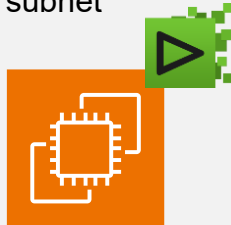
NAT gateway



Public subnet



Private subnet



Availability Zone 2



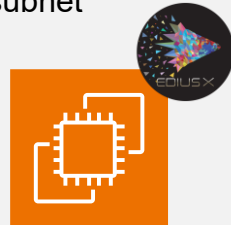
NAT gateway



Public subnet



Private subnet



Availability Zone 3



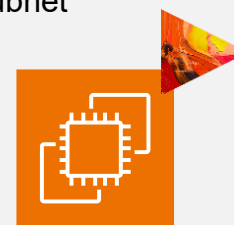
NAT gateway



Public subnet



Private subnet



検証結果

EDIUS9:成功

EDIUSX:失敗

EDIUS1 1:失敗

技術的ハードル

EDIUS9

- ・単体アプリケーションに近い構成
- ・ライセンスサーバーへ接続できれば起動可

EDIUSX/EDIUS11

- ・複数のバックグラウンドサービスで構成
- ・ローカルwebサーバーを内包した構成
- ・ローカルHTTPS通信と証明書に依存

EDIUSX/EDIUS11

- ・複数のバックグラウンドサービスで構成
- ・ローカルwebサーバーを内包した構成
- ・ローカルHTTPS通信と証明書に依存



Amazon Appstream2.0は毎回マスターイメージから新しいストリーミングインスタンスを生成するのでバックグラウンドサービスによる自己証明書の認識失敗やローカルHTTPS通信の不確立が生じる



セッション起動時に
自己証明書再生成および全サービス再起動スクリプトを仕込む

検証結果

EDIUS9:成功

EDIUSX:成功

EDIUS1 1:成功

実運用と評価

各班10時間ずつほど使用

【良かった点】

- ・EDIUSアプリ自体は正常稼働(仮編程度では固まったりすることはなかった)
- ・一度ストリーミング接続できれば安定運用

【課題点】

- ・インスタンス不足のエラーが頻発

No streaming resources are available.

No streaming resources are available for your session. Try again in a few minutes. If this problem continues, contact your administrator.

Retry

- ・ディスプレイ認識のバグ(HDMIケーブルを抜くと・・・)

まとめ

- ・新人研修をターゲットに、Amazon Appstream 2.0を使用したクラウド編集環境の構築を実施できた
- ・非永続VDI特有の構築ノウハウや知見を蓄積
- ・実用性の評価およびコストの概算ができた

ご清聴ありがとうございました

読売テレビ放送株式会社 香川駿貴